



農家の豊かさが育んだ「庭園文化」とゆつたりファームステイのすすめ



平川市公式note

2025年12月11日 14:26

...

こんにちは。平川市です。
いつもご覧いただきありがとうございます！

12月の平川市は、特産品であるりんごの人気品種「ふじ」の収穫がひと段落し、市場に出荷するための選果作業が行われています。

さて、今回はこの土地で育まれた農村の暮らしと文化をたどります。
ぜひ最後までご覧ください。

▼ 目次

時と水 ゆったり流れる 平川市

農村に花開いた尾上地域の庭園文化

凶作救済から始まった庭造り

大正浪漫が漂う和洋折衷の建物「盛美館」

農家蔵のまち 尾上金屋地区

職人技が光る「コテ繪」

ひと味違う旅行体験はいかが？

また次回もお楽しみに

時と水 ゆったり流れる 平川市

タイトルで使用したものは、平川市のキャッチフレーズです。

2011年に最優秀賞を獲得した千葉県の方の作品で、選考理由は以下の通りです。

長い歴史を経て現在・未来へ緩やかに時が流れ、
少しずつ発展していく様を
住民に恵みを与え続けてきた平川の流れと掛け合わせ、
平川市の穏やかなゆとりある「たたずまい」を表現している。

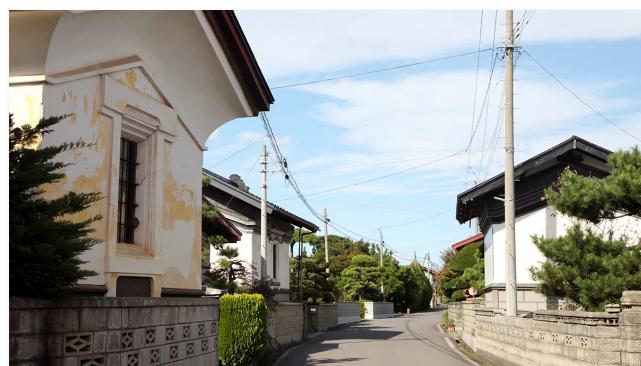
この言葉の通り、平川市には、農村の暮らしと歴史が静かに息づいています。

まずは、農村の暮らしからゆっくりと時間をかけて育まれた「庭園文化」から紹介させていただきます！

農村に花開いた尾上地域の庭園文化

平川市の尾上地域には、昔ながらの美しい風景が今も残っています。

白壁の蔵が並び、丁寧に手入れされた生垣が続き、屋敷ごとに違った趣の庭園が、蔵の佇まいとともに静かに調和しているんです。



白い壁が美しい尾上地域の景観

この文化のシンボルが、**国指定名勝「盛美園（せいびえん）」**です。

凶作救済から始まった庭造り

実は、盛美園が生まれたきっかけは、単なる美の追求だけではありませんでした。

地域の大地主だった清藤家24代・盛美（もりよし）が、凶作に苦しむ農家さんたちを助けるため、彼らに庭造りを手伝わせたのが始まりだと言われています。

その庭こそが「盛美園」です。



国指定名勝「盛美園」

盛美園は、12,000m²という広大な敷地（なんとテニスコート約47面分！）を持ち、津軽独自の作庭様式「大石武学流（おおいしぶがくりゅう）」によって、明治35年から約9年かけて造られました。まさに、時間をかけて育まれた文化遺産なのです。

こうした経緯で、尾上地域には独自の庭園文化が根付いていきました。これがきっかけで今も造園業者さんが数多くいらっしゃいます。

大正浪漫が漂う和洋折衷の建物「盛美館」

盛美園を訪れたら、庭園鑑賞のために建てられた「盛美館」へぜひお越しください！とても珍しい和洋折衷の美しい建物です。

- 1階：落ち着いた数寄屋造りの和室
- 2階：ルネサンス調の洋間



大正浪漫の雰囲気が漂う「盛美館」

エメラルドグリーンの屋根、白い漆喰の壁、そして洋風の窓と、障子や縁側が不思議なほど調和していて、独特の大正浪漫のムードが漂っています。

そしてなんと、この建物はスタジオジブリ映画『借りぐらしのアリエッティ』の参考にされたとも言われているんです…！

庭園の佇まいや建物の床下など、映画の世界観を連想させる場所を探しながら歩くのも楽しいかもしれませんね。

農家蔵のまち 尾上金屋地区

盛美園から近い尾上金屋地区には、明治から昭和中期にかけて建てられた、約80棟もの「蔵」が並んでいます。

戦後の農地改革で自作農となった農家さんたちは、収穫したりんごやお米を貯蔵する施設が必要になりました。

壁土や砂といった材料が手に入りやすかったこともあり、昭和20年代から30年代にかけて農家蔵を建てるブームが起きたそうです。

職人技が光る「コテ繪」

これらの蔵の多くは、今では国登録有形文化財に指定されています。

重厚な造りも魅力的ですが、特に見てほしいのは、左官職人がコテで描いた装飾の「コテ繪」です。



漆喰をコテで盛り上げて描く
日本の伝統的な壁面の浮彫り装飾

この絵には、当時の人々の切実な願いが込められています。

- 鶴や亀の絵：長寿への願い
- 水や波の絵：火事よけの祈り

当時の農家さんたちの想いや祈りが、今もなお、蔵の壁に大切に刻み込まれています。

保存活動も盛んで、2002年には地元の有志が集まった、尾上蔵保存利活用促進会が設立されました。 「蔵と庭園巡り」のガイドツアーなどを実施されており、この貴重な農村景観を地域の宝として守り継いでいらっしゃいます。

ひと味違う旅行体験はいかが？

旅行というと、観光地やグルメ巡りを想像しがちですが…平川市ではそれとはひと味違う、「農業の豊かさ」を深く体験できるツアーがあります。

それが、農家に泊まって農作業も体験できる**ファームステイ（農家庭泊）**です！



デスクワークでは味わえない自然の中での作業は、
最高の気分転換になります！

とっても広いりんご畠や田んぼの中で、ホストの農家さんと一緒に、その季節にしかできない作業を体験いただけます。

体験の一例

りんごの摘果（てきか）や収穫

畠づくり

野菜の収穫 など…

体を動かして汗を流した後は、ホストさんがおすすめする地元の温泉でゆったり。

その後は夕食の準備を手伝い、みんなで晩ご飯を囲みます。

農家さんとその日の出来事や地域の話で盛り上がりながら、まるで家族のような時間を過ごし、豊かな農家暮らしを心ゆくまで体感することができます。



ファームステイにいらっしゃった生徒さんたち。
ご飯を一緒に作ります！

また次回もお楽しみに

平川市の穏やかな文化や佇まいは伝わりましたか？
時間をかけて育まれた歴史や文化、そして農業の豊かさが、暮らしの豊かさに繋がっていることを感じていただけたら幸いです。

次回は、いよいよ「**平川市産業振興に係る基本構想**」についてご紹介します。
どうぞお楽しみに！